

統計調査の民間開放が始まる！

平成 19 年就業構造基本調査民間へ委託！

「福井県越前市、平成 19 年就業構造基本調査を民間業者へ委託」との報道がなされました。国(総務省)が直轄で行っていた「科学技術研究調査」の民間開放は決まっていたものの市町村が行うことは全国で初の試みとなります。7 月には入札が行われ業者が決定される見込みであり、市内約 800 世帯への調査票の配布・記入説明・回収などの業務が民間業者に託されることとなります。

この全国初の試みに、総務省統計局や各県の統計担当課も注目しています。果たして、統計調査業務の効率化が図れるのか？調査票の回収率や精度は保たれるのか？今後の統計調査の動向を占うだけに目が離せません。

民間開放の方法 ～民間開放には、下ごしらえが～

現在、市町村を経由する統計調査は、「県」が調査員を任命し、「市町村」がその調査員に対し調査票の配布、回収方法などの指導や説明を行うことで実施されています。(統計法施行令)

国が示す民間開放の方法とは、統計調査員の任命と指導、調査票の配布、記入依頼、回収など業務を一括して民間業者へ委託するというものです。

したがって、民間開放を行うには、まず県が条例を改正し、県の権限である「調査員の任命」を市町村へ移さなければ実施できないのです。福井県は、平成 19 年 4 月に条例を改正し、この権限を市町村へ移していました。これにより越前市の民間開放が可能となりました。

★ 話題のスポット ★

福井県越前市は 2005 年 10 月 1 日に、旧武生市と旧今立町が合併して生まれた人口約 8 万 8 千人、面積 230.75K m²のまちです。福井県のほぼ中央に位置し、米原から北陸本線で約 1 時間のところにあります。福井県下第一の工業製品出荷額を誇る産業都市である一方で、伝統と歴史を守り自然も豊かな北陸の中核都市のひとつです。

伝統産業では、1500 年前の継体天皇の御世から続く越前和紙や、700 年もの伝統を継承する越前打刃物などがある有名で、歴史の重さのみならず、近年その品質の高さが評価され世界的にも注目を集めています。

また、「源氏物語」の作者である紫式部が、生涯でただ一度だけ都を離れて暮らした土地であることを記念して造られた紫式部公園、佐々木小次郎の生家にちなんだ小次郎公園、謡曲「花筐」の舞台として名高い花筐公園など、歴史と自然を感じさせる観光スポットも多数存在しています。

石畳と石灯ろうが並ぶ寺町通りや、大正から昭和初期に建てられた木造の店舗や蔵を再生して「美しいまちなみ大賞」を受賞した「蔵の辻」などの、古くて新しい町並みは情緒たっぷり。

秋には「たけふ菊祭り」が開催されるとのこと、しっとり万葉ロマンにひたってみてはいかがでしょうか？

福井県越前市のホームページ<< <http://www.city.echizen.lg.jp/> >>



はじめまして「新統計法」です。〈〈シリーズ新統計法①〉〉

平成19年5月23日公布

ついに私「新統計法」がお目見えとなりました。戦後60年の長きにわたり活躍された先輩統計法の良きものを引き継ぎ、現代社会からの要望をしっかりと受け止め、精神一到頑張ります！

・・・ん？私のこと、あまりご存知ではない？(^_^;) では、あらためまして、自己紹介を。

私のキャッチフレーズは、『社会の情報基盤としての統計』です。統計を、行政の施策立案のためだけでなく、様々な方に御利用いただきたいと考えています。それでは、リニューアルされた統計法がどのようなものか、これから数回に分けて御説明いたします！

新統計法の施行はいつ？

(*・*) 公布から2年以内に施行すると決められています。ただいま総務省で私の部下となる「新統計法施行令」やその他の取り決めなどを検討し、整備を開始したところです。

この取り決めなどは、新たに設置される「統計委員会」の意見を聞いたうえで整備していきますので、「統計委員会」の設置と「統計調査の基本計画の策定」の部分についてだけ、平成19年10月に一部施行される予定です。したがって、私の完全デビューは平成21年4月になる予定です>(*▽*)

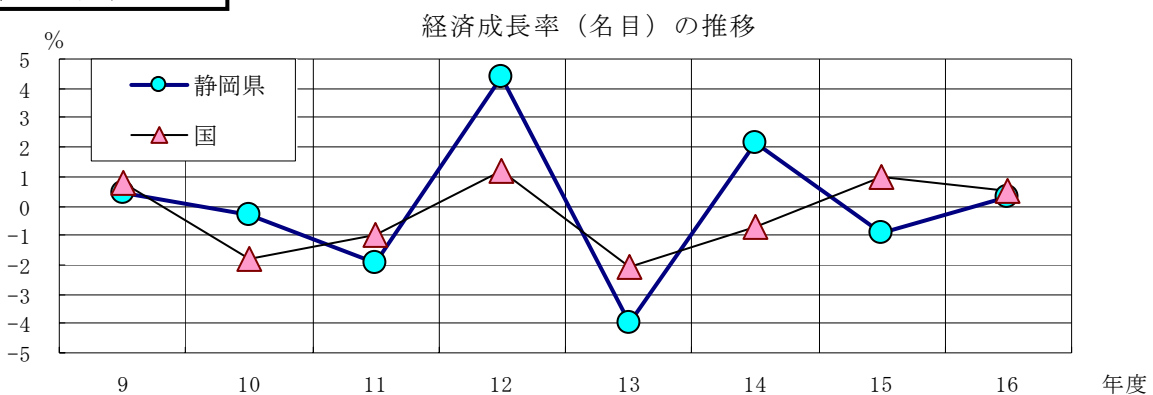
とうけい君のちょこっと解説

統計法の改正により、「国勢統計」と「国民経済計算」が基幹統計として規定されました。「国勢統計」とは、国勢調査によって収集される「人口」をはじめとする国民の暮らしむきに関する統計で、「国民経済計算」とは、「GDP（国内総生産）」を算出するために作られる国家の家計簿のようなものです。

近年、GDPは、国際競争力を示す指標として、また国内の政策目標として重要な役割を担っています。国際比較を前提にしているため、様々な定義上の課題がありますが、一国の経済状態を金額で表せるという意味で、とても便利な経済指標だと言えます。

また、国民経済計算を元に、経済活動が環境へ及ぼす影響を計算したり、家事労働や非営利団体の活動を経済活動として捉える方法などが研究されており、GDP以外でも国際比較を行うことができる統計として注目されています。

♥ 今日のグラフ ♥



静岡県県民経済計算による県内総生産（県GDP）の成長率と、国GDP成長率のグラフです。山あり谷あり・・・がんばって登っています。先行きはやや明るい・・・かも。

静岡県県民経済計算についての詳細は「統計センターしずおか」をご参照ください。

静岡県の統計情報のHP『統計センターしずおか』[《http://toukei.pref.shizuoka.jp/》](http://toukei.pref.shizuoka.jp/)